

第3学年 国語科学習指導案

児童：3年1組 男子15名 女子13名
指導者：藤村 恵理子

- 1 単元名 二 大事なことをたしかめよう 教材名「すがたをかえる大豆」
「食べ物はかせになろう」——本で調べる

2 単元について

(1) 教材について

本単元「大事なことをたしかめよう」は読みの学習を通して身に付けた力をもとに、疑問や興味をもった事柄について様々な本で調べ、集めた情報を文章にまとめることをねらいとしている。

本教材「すがたをかえる大豆」は、身の回りにあふれている大豆やその加工食品について書かれている。大豆の加工食品は、見ただけでは大豆からできていると思われていないものもあり、子どもにとって新鮮な発見が多く、意欲的に学習できる。段落構成や大事な語や文も明確であり、後に続く書く活動にも生かされる教材である。

文章構成は、「初め」(第①～②段落)「中」(第③～⑦段落)「終わり」(第⑧～⑨段落)と三つに分かれている説明型の文章である。「初め」には話題提示、「中」には工夫の説明、「終わり」にはまとめを書くことを学ぶことができる。

「食べ物はかせになろう」は、第1教材の「すがたをかえる大豆」を生かして、興味をもった食べ物を本で調べ、集めた情報を段落ごとに文章にまとめる学習である。本の活用や情報の整理の仕方を学習する。

以上から、本教材は子どもが興味をもって内容を読み取り、その身に付けた力を使って身近な食べ物について本で調べ、書きまとめるのに適した教材であるといえる。

(2) 子どもの実態

子どもたちは、説明文教材「ありの行列」の学習で、段落ごとに大事なことをまとめながら読み進める学習をしてきた。段落の意味や役割を理解し、要点をまとめることやそのよき、検証型の文章構成を学習してきた。

これらの学習を通して、重要語句や文末表現に気を付け、内容を読み進める子どもが多くなってきた。大意を理解するのに時間がかかる子どもには、音読がすらすらできることを目標に励ましている。

本校の研究内容である「教材文とのかかわり」では、一人学びに入る前に目的と方法を理解させ、十分な時間を与えることで、子どもが自分の考えをもち、主体的に教材とのかかわり合えるようにしてきた。これまで、重要語句にサイドラインを引いたり、書き込みをしたりするを経験してきた。書きまとめは、書く速さに個人差があり、個にあった指導を工夫するようにしている。

また「友達とのかかわり」については、話を聞くことを大切に指導してきた。友達の話に付け足したり賛成したりできる子どもが増えてきた。また隣りや班の友達とのかかわり話し合うことで、確認できたり考えを修正したりする姿が見られるようになってきた。

(3) 指導にあたって

① 教材文とのかかわり

学習計画の段階では、「すがたをかえる大豆」で学んだ段落構成を参考にして、興味のある食品を本で調べ、必要な情報を選び出し「わたしの食べ物ブック」を一人一人が書きまとめる学習であることを伝える。

課題追究の段階では、段落相互の関係に注意して読むことや、重要語句や文に着目して内容を読むことが学習の中心となる。大豆がどんな食品に、どのような工夫で姿をかえるのかを段落ごとに読み進めていきたい。その際、「～するくふう」や姿をかえる「食品」に着目させ、加工される手順にサイドラインを引き読み取っていく。また子どもたちには「いる」「にる」「ひく」「すりつぶす」「熱する」「しぼり出す」「加える」「むす」という言葉を辞書で調べしっかり理解させたい。

課題解決の段階では、「すがたをかえる大豆」の要点をもとに、「初め」には大豆の提示、「中」には

五つの工夫の説明、「終わり」には、まとめが書かれてあることを確認し、「ありの行列」の文章構成との違いに気付かせ、今回の「食べ物ブック」は、「すがたをかえる大豆」の文章構成である説明型で書いたほうが分かりやすいことを読み取らせたい。

「食べ物はかせになろう」の学習では、興味のある食べ物について、調べた内容を事柄ごとに段落に分けて書かせたい。必要な事柄を取捨選択できるように指導していきたい。「すがたをかえる大豆」の学習で理解した文章構成を生かし「食べ物ブック」を作りたい。「初め」は自分が興味をもった食べ物の提示、「中」には説明を段落ごとに並べて書き、「終わり」にはまとめを書くことで段落相互の関係を考える力を身に付けさせたい。

② 友達とのかかわり

友達の話最後まで聞くことを基本として、できるだけ自分の考えと比べて聞くことができるようにしたい。比較して聞き、更に発表できるということは、友達の問題を自分の問題として受け止め、主体的にかかわっていることである。友達の考えにかかわれるように、付け足しや類似や賛成や反対などの言い方に慣れさせ、根拠をもとに話し合わせることで思考が深まるように工夫したい。

ペア学習では、一人学びで読み取ったことを交流し合い、文章構成についての理解を深めたい。分からない子どもは質問したり、説明できる子どもは教えたりし、交流させたい。

まとめの感想交流では、友達の発表で分かったことなどを交流し合い、かかわりあうよさを実感させたい。友達の考えと自分の考えを比較して聞き合うことで、一人一人の考えが友達とつながって思考が深まるようにしていきたい。

3 単元の目標

観点	目標
国語への関心 意欲・態度	・いろいろな読み物や図鑑などを興味をもって読もうとしている。 ・伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して書こうとしている。
書く能力	・調べて書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすることができる。(イ)
読む能力	・段落相互の関係を考えながら、文章の内容を的確に理解することができる。(イ)
言語についての 知識・理解・技能	・文章全体における段落の役割を理解することができる。(オ)

4 単元の指導計画と評価規準 (18時間 読むこと 8時間 書くこと 10時間)

段階	時間	○ 学習計画 ・主な活動	評価規準 (評価と方法)		
			国語への関心・意欲・ 態度	書く能力と 読む能力	言語についての 知識・理解・技能
学習 計画	1	○全文を読み、「すがたをかえる大豆」の感想を書き、学習のめあてをつかむことができる。 ・どんな食品がでてきたか確かめ、大豆が姿を変える方法を読み取っていくことを知る。 ・段落番号をふる。	・「すがたをかえる大豆」に関心をもって読み、進んで感想を書こうとしている。(観察)	<読む> ・大豆が食品に姿を変える方法を読みとることを理解している。(発言・ノート)	・まとめごとに段落番号を書いている。(発言・ノート)
		○「食べ物はかせになろう」を読み、「食べ物ブック」を作る見通しをもたせ、学習計画	・「食べ物はかせになろう」の学習の見通しをもち、進んで学習計画をたてようとしてい	<読む> ・「すがたをかえる大豆」の文章構成を「食べ物はかせになろ	・段落の意味や役割を理解している。(発言・ノート)

	2	をたてることができる。 ・「すがたをかえる大豆の」文章構成のよさを「食べ物ブック」作りに生かすことを理解する。	る。(発言)	う」の書く活動に生かしていくことを理解している。(発言・ノート)	
課題追究	1	○大豆が食品に姿を変える方法を読み取ることができる。 ・P27「学習」を読み表の書き方を理解し、表にまとめる。(第③④⑤⑥⑦段落)	・いろいろな食品に姿をかえている大豆について読み取ろうとしている。(発言・ワークシート)	<読む> ・大豆が姿をかえる方法を読み取りまとめている。(発言・ワークシート)	・大事な語や文に着目してまとめることを理解している。(発言・ワークシート)
	2	○大豆が食品に姿を変える方法を全員で確認することができる。 ・手を加えるときの言葉を理解することができる。(第③④⑤⑥⑦段落)	・いろいろな食品に姿をかえている大豆について読み取ろうとしている。(発言・ワークシート)	<読む> ・大豆が姿をかえる方法を読み取りまとめている。(発言・ワークシート)	・「いる」「煮る」「ひく」「すりつぶす」「熱する」「絞り出す」「加える」「むす」などの言葉の意味を理解している。(発言・ワークシート)
	3	○全文を読み、全体を「初め」「中」「終わり」の三つに分けることができる。 ・第①②段落と第⑧⑨段落の要点をまとめ、大きく三つに分かれていることに気付く。	・進んで文章を読み、文章構成を考え「初め」と「中」の要点をまとめようとしている。(発言・ワークシート)	<読む> ・段落構成を読み取り、「初め」「中」「終わり」の大きなまとまりを理解している。(発言・ワークシート)	・「初め」「中」「終わり」の三つの文章構成を理解している。(発言・ワークシート)
	4	○「中」には、それぞれ何について書かれているのかをまとめることができる。 ・第③④⑤⑥⑦段落の要点をまとめる。	・進んで文章を読み、「中」に書かれている要点をまとめようとしている。(発言・ワークシート)	<読む> ・「中」に書かれていることを細かく読み取っている。(発言・ワークシート)	・大事な語や文、接続語に着目している。(発言・ワークシート)
課題解決	1 本時 1 - 1	○「すがたをかえる大豆」の文章構成を理解することができる。 ・段落の役割を考える。 ・「ありの行列」の文章構成と比較する。	・進んで段落ごとの役割を考え、「ありの行列」との文章構成の違いを考えようとしている。(発言・ワークシート)	<読む> ・「初め」「中」「終わり」の段落の役割を考え、文章構成の特徴を理解している。(発言・ワークシート)	・説明型の文章構成の特徴を理解している。(発言・ワークシート)

書くことの学習	1	○調べ学習について理解し、学習計画を立てることができる。 ・「本で調べる」を読み、調べる食べ物を決める。	・本での調べ方を理解して、文章にまとめようとしている。(観察・発言)	<読む> ・本での調べ方を理解して、学習のめあてをつかんでいる。(観察)	・「初め」「中」「終わり」の文章構成や段落相互の関係について理解している。(観察・発言)
	2	○調べたい食べ物を決められることができる。 ・「本で調べる」を読み、調べる食べ物を決める。	・調べようとする理由がはっきりし、文章にまとめようとしている。(観察)	<書く> ・どのような順序で調べ学習を行うか理解している。(観察・発言)	・「初め」「中」「終わり」の文章構成や段落相互の関係について理解している。(観察・発言)
	3	○本での調べ方を知り、大事なことを情報カードに書くことができる。	・進んで本を探し、調べようとしている。(観察)	<書く> ・調べたい事柄を選び分かったことをカードに書いている。(カード・下書き)	・要点を絞って書いている。(カード・下書き)
	4	・本で調べ、大事なことを書き出す。			
	5	○カードをもとに、「すがたをかえる大豆」の文章構成を生かし、文章にまとめることができる。	・カードをもとに、進んで情報を整理して文章を書き、本作りをしようとしている。(観察・作品)	<書く> ・情報を取捨選択し、一つの事柄のまとまりを一つの段落に書いている。(作品)	・「初め」「中」「終わり」の文章構成で書いている。 ・「中」の部分は説明を並べて書いている。(作品)
	6	・調べた事柄について、整理をして段落ごとにまとめる。			
7	○「わたしの食べ物ブック」を作ることができる。	・友達の記事を読んだり、自分への評価を読んだりしている。(観察・感想カード)	<書く> ・友達への感想カードに文章構成のよさを書いている。(感想カード)	・説明型の文章構成で書くよさに気付いている。(感想カード)	
8	・友達同士記事を読み合い評価し合う。				
9					
10					
11					

5 本時の学習（課題解決 1 / 1）

(1) 「すがたをかえる大豆」の文章構成を理解することができる。

(2) 評価規準

【読む能力】

・「初め」「中」「終わり」の段落の役割を考え、文章構成の特徴を理解している。

(3) 展開

段階	学習活動	教師のはたらきかけと評価
課題把握と見直し	1 前時の学習を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した文章構成を振り返りながら、本時の学習に対して意欲をもたせる。 ・本時は、三つの段落の役割を考え、段落相互の関係を理解し、文章構成の特徴を理解することを確認する。
	2 本時の学習範囲と課題をつかむ。 段落の役割を考え、文章の組み立ての特徴をまとめよう。	

5分	3 見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・要点をまとめたワークシートを手がかりにして、段落の役割を考え、また「ありの行列」の文章構成と比較し特徴を読み取っていくことを理解させる。
課題追究20分	<p>4 段落の役割を考え、段落相互の関係を読み取る。</p> <p>(1) ワークシートに書いてある段落の要点をまとめた文章を音読する。</p> <p>(2) 段落の役割を示したカードを用い段落の役割を発表する。 話題をなげかけている 説明 まとめ</p> <p>5 「すがたをかえる大豆」の文章構成の特徴を話し合う。</p> <p>(1) 「ありの行列」の文章構成との違いを見つける時の視点を与える。</p> <p>(2) ワークシートに違う点を書く。 (一人学び)</p> <p>(3) ペアで確認し合う。</p> <p>(4) 全体で交流する。</p> <p>6 「食べ物ブック」を書くときには、どちらの書き方を参考にできるか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員で要点の意味を確認しながら音読する。 ・「初め」は話題について、「中」はおいしく食べる工夫についての説明、「終わり」は筆者の考えでまとめが書かれていることを根拠をもとに説明させる。 ・「中」に書かれている五つの工夫は、加工過程がだんだん複雑になっていることにも気付かせる。 【教材文とのかかわり】 ・「時間の順序はどうなっているか」「段落の役割の違いということに着目させる。 ・個別に指導する。つまづいている子にはヒントを与える。 【教材文とのかかわり】 ・質問したり教え合ったりさせる。 【友達とのかかわり】 ・複数発表させることで、まとめていく。 【友達とのかかわり】 ・「ありの行列」は問いに対して実験や研究を行い、時間を追って答えを出す文章構成に対し、「すがたをかえる大豆」は話題を提示して、説明を並べて書くという文章構成であることに気付かせ、違いがあることを理解させる。 ・「食べ物ブック」は、興味のある食べものについて、どんな食品に加工されるかを並べて書くので「すがたをかえる大豆」の文章構成で書くことに気付かせる。
課題解決15分	<p>7 学習課題に対するまとめをする。</p> <p>(1) 「すがたをかえる大豆」の段落の役割をまとめ、「食べ物ブック」はどちらの組み立てで書くと分かりやすいかまとめる。</p> <p>(2) 読み取ったことを確かめながら、音読する。</p>	<p>【具体的評価規準（方法）と指導の手立て】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・「初め」「中」「終わり」の役割に気付き、「中」には、説明を並べて書くことをまとめている。「すがたをかえる大豆」の文章構成を生かすことを書いている。(ワークシート) <p>(例)「初め」は話題を書き「中」は説明がいくつかならべて書かれている。「終わり」はまとめが書かれている。「食べ物ブック」は「すがたをかえる大豆」の書き方で書くと分かりやすい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成の役割と特徴が書けている子どもには、「すがたをかえる大豆」の文章構成で書くよさを「ありの行列」と比べて書かせる。 ・文章構成の役割を書けない子どもには、板書をもう一度振り返らせヒントを与える。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・段落の組み立てやその役割を考えて読むことが、文章の読み取りを深めることを確認する。

ま と め 5 分	8 感想を交流する。	・ 友達の発表で分かったことや考えのよさを交流する。 【友達とのかかわり】
	9 次時の学習の確認をする。	・ 「食べ物はかせになろう」に入ることを確認する。